

十二使徒シリーズ

⑪ マッテヤ (Matthias)

使徒 1:15-26

2020.7.26 HKJCF

1

概観

イスカリオテ・ユダの代わりに選ばれた使徒マッテヤは、どういう人だったのか、そして、主に従うことについて学びたい。

アウトライン

- | | |
|------------|--------|
| 1. マッテヤの感情 | V15-20 |
| 2. マッテヤの背景 | V21-22 |
| 3. マッテヤの決断 | V23-26 |

2

1. マッテヤの感情 V15-20

- 1) 120人弟子たち: 復活後の実際生活 (I コリント 15:3-6); ペンテコステ前の生活。
- 2) 裏切と自殺のショック: 仲間の死; 心と霊の解放; 理性と感情のギャップ。
- 3) リーダーペテロの務め: 「私の羊を飼え」; 御言葉に向かわせる (詩篇 69:25; 109:8)。使徒の権威 ⇄ 人間の解釈 (聖霊の靈感)。
- 4) 神のご計画と人間の選択: 神様はあらゆる方法で実現できる ⇄ 蒔いた種を刈取る。

3

2. マッテヤの背景 V21-22

- 1) 詩篇 109:8: 12部族の代わり → 新しいイスラエル; ユダヤ人伝道に必要な位置づけ。
- 2) 使徒の資格: ① イエス様の受洗から昇天まで ② 復活のイエスの目撃者。イエス様の地上のすべてを共有した者。
- 3) オリジナル・ファイブと一緒にいた: マタイやほかの使徒より長いいた者。
- 4) 気持ちの整理: 慕って尊敬していた12人; 仲間入りをすべきかどうか? 穴埋めか?

4

3. マッテヤの決断 V23-26

- 1) バルサバとマッテヤ: 基準によって選定 → 人間側にできることを行う。人の内心 → 神様の働き; 人間と神のパートナーシップ。
- 2) 御心が示される方法: 当時 = くじ引き (箴言 16:33; 民数記 26:55-56; ネヘミヤ記 11:1)。ペンテコステ後 = 聖霊の導き (祈り、聖書、人)。
- 3) 使徒たちに加えられた: 御言葉に従順で、寛大で、謙遜な人; 将来と御国の拡大に対して前向き。聖書に何の記録もない。

5

適用

- ① 神はすべてを守って下さることを信じよう: イエス様が処刑された悲劇の中にあっても、マッテヤは御言葉と使徒たちを信じて、仲間入りを決断した。
- ② 神が用意してくださった道を歩もう: 自分の感情やこだわりを横に置いて、礼拝と献身の姿勢で神様を信頼し、神様と共に歩みつづけよう。

6